

問2 システム開発プロジェクトにおけるスケジュールの管理について

プロジェクトマネージャ（PM）には、プロジェクトの計画時にシステム開発プロジェクト全体のスケジュールを作成した上で、プロジェクトが所定の期日に完了するように、スケジュールの管理を適切に実施することが求められる。

PM は、スケジュールの管理において一定期間内に投入したコストや資源、成果物の出来高と品質などを評価し、承認済みのスケジュールベースラインに対する現在の進捗の実績を確認する。そして、進捗の差異を監視し、差異の状況に応じて適切な処置をとる。

PM は、このようなスケジュールの管理の仕組みで把握した進捗の差異がプロジェクトの完了期日に対して遅延を生じさせると判断した場合、差異の発生原因を明確にし、発生原因に対する対応策、続いて、遅延に対するばん回策を立案し、それぞれ実施する。

なお、これらを立案する場合にプロジェクト計画の変更が必要となるとき、変更についてステークホルダの承認を得ることが必要である。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わったシステム開発プロジェクトにおけるプロジェクトの特徴と目標、スケジュールの管理の概要について、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べたスケジュールの管理の仕組みで把握した、プロジェクトの完了期日に対して遅延を生じさせると判断した進捗の差異の状況、及び判断した根拠は何か。また、差異の発生原因に対する対応策と遅延に対するばん回策はどのようなものか。800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた対応策とばん回策の実施状況及び評価と、今後の改善点について、600字以上1,200字以内で具体的に述べよ。